

大学コンソーシアムやまがた 総務運営委員会 記録

日 時 平成18年8月29日(火) 14:05～15:50
場 所 山形大学事務局3F第1会議室
出席者 中村三春(委員長 山形大学:教員)
栗山恭直(山形大学:教員) 内田勝雄(県立保健医療大学:教員)
矢口親斉(東北公益文科大学:事務 呉尚浩委員の代理)
鈴木義昭(山形短期大学:教員) 伊東知之(羽陽学園短期大学:教員)
佐竹正行(山形大学:事務) 阿部愼悦(県立保健医療大学:事務)
高橋勝重(県立米沢女子短期大学:事務) 半澤昌子(山形短期大学:事務)
江口裕之(鶴岡工業高等専門学校:事務 中嶋靖雄委員の代理)
中島博信(放送大学山形学習センター:事務)
高橋正浩(山形県)
オブザーバー出席者 友光健二(山形大学学術情報部長)
欠席者 早坂 功(副委員長 東北芸術工科大学:教員)
嶋崎伸一(県立米沢女子短期大学:教員) 菊地 朗(山形大学:事務)
中嶋健治(東北芸術工科大学:事務) 池田浩一(東北公益文科大学:事務)
巻 久(羽陽学園短期大学:事務) 長谷川守男(羽陽学園短期大学:事務)

議 題

1 大学コンソーシアムやまがた「図書館部会」の設置について

委員長から、提案に先立ち、次のとおり説明があった。

- ・本件については、山形大学附属図書館が、本年5月に、国(国立情報学研究所)の「次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業」に提案した「機関リポジトリ構築・運用事業」が採択された。なお、提案の際に、本コンソーシアム会長の了解を得て、本コンソーシアムと連携して行う事業として提案されていたものである。
- ・事業経費については、山形大学に委託される事業であり、事業経費の経理も山形大学が行うことになるので、本コンソーシアムの予算に計上されるものではない。

次いで、オブザーバー出席の山形大学の友光学術情報部長から、「機関リポジトリ構築・運用事業」の採択されたこと、及び、事業遂行のため、本コンソーシアムに図書館部会の設置を要望することについては、各機関の図書館担当者に説明し内諾をいただいている旨説明の後、資料1-1に基づき、詳細説明があった。

次いで、委員長から、資料1-2に基づき説明の後、図書館部会の設置について提案され、種々意見交換の後、委員長から、本日の意見交換内容を踏まえた上で、原案どおり図書館部会を設置する案で、部会の名称も含めて、各機関に持ち帰り検討いただき、その結果を来週中頃までに事務局あてお知らせ願いたい旨の依頼があった。

意見交換の主なものは次のとおり。(○:質問、意見等、◇:回答など)

○リポジトリ事業として各機関が行う作業は何か、また、19年度から各機関で行う作業の

必要経費はどうか。

- ◇作業は、研究論文等をサーバに搭載できるよう著作権面で著者の了解をとること、また、経費は電子化又は pdf 化に要する経費である。ただし、論文等の量によっては、リポジトリ事業経費で行うことも考えられる。
- ◇本事業により搭載されるデータは、世界的なセンターに集約され、地球規模での検索を容易にするものとなる。
- 図書館部会の事業内容、及び今年度に部会を整理したことを勘案すれば、既存の部会等の中に含めてやることはできないのか。新たに部会設置となると部会員を出すことも考えられ、大変になる。
- ◇専門部会とすることで、この事業のほかにも、相互の職員研修、情報交換等で連携・協力が図りやすくなると考えている。既存の部会等に含めると、その部会が肥大化することになる。また、専門部会とすることで、本コンソーシアムの特徴的なものになる。図書館部会は、予算面、運営面においても他の業務を圧迫するものではないと考えている。
- 既存の県図書館連絡協議会と重複することにならないのか。
- ◇連絡協議会は年 1 回開催しているものであり、本コンソーシアムの部会として位置づけてもらう方が活動しやすくなるを考える。
- 作業の量を考えたとき、山形大学図書館が量的に大きく、他大学等は少量のものになるのでは。
- ◇作業量的には違いが出てくると思うが、部会を設置して明確な存在にさせていただいた方が事業を展開しやすくなると考えているので、よろしくお願ひしたい。
- ◇「図書館部会」は仮称であり、名称も含めて、各機関に持ち帰りご検討いただきたい。

2 山形県からの委託事業（女子生徒向け理工系キャンペーン事業）について

委員長から、資料 2-1 に基づき次のとおり説明があった。

- ・本事業は、山形県が内閣府の事業に提案し採択されたもので、県から本コンソーシアムに対し本事業を委託したい旨申し入れがあったものである。
- ・この事業は高大連携に関するものであり、本委員会の担当となるものである。
- ・事業内容については、現在、県と詰めているところである。セミナーについては本委員会の主担当である山形大学が、セミナーキャンプについては、山形大学工学部が中心となり、それぞれ計画を策定中である。
- ・委託経費は約 300 万円で、事業委託金として本コンソーシアムの予算に含めて経理することになる。

次いで、セミナーの計画について、栗山委員から、資料 2-2 に基づき説明があり、質疑の後、委員長から、事業計画案が固まった時点でメールによりお知らせさせていただきたい。現時点でのご意見等については、来週中頃までに事務局あてメールでお知らせいただきたい旨依頼があった。

委員長から、議題 1 及び 2 については、本委員会案が固まった後、幹事会に諮ることになる旨説明があった。

3 山形県大学ガイダンスセミナー（高大連携シンポジウム）について

委員長から、資料3に基づき、本件についての概要は既にお知らせしているが、大学入試センターとの共催事業の第2弾である。内容が高大連携に関するものであるので本委員会の担当となる。事業の詳細案作成後メールでお知らせし、ご意見等をお知らせいただくこととしたい。また、パネラーの推薦についてもよろしくお願ひしたい旨の依頼があった後、本件については、再度本委員会を開催しご検討いただくことにしたい旨発言があった。

関連して、委員長から、教育連携部会担当で8月に開催された、高校生等を対象とした「ガイダンスセミナー」について、資料により説明があった。

4 その他

委員長から次のとおり発言があった。

- (1) 本委員会担当の広報事業について、①ホームページが更新されていないこと、②広報誌がまだ発行されていないことについて、進捗状況を把握し皆様にお知らせすることとしたい。
- (2) 教育連携部会関係のお願いについて
 - ① 単位互換の利用者が少なく、特にeラーニングの利用はゼロである。後期分について利用者が出るよう、各機関で利用の呼びかけをお願いしたい。
 - ② また、受講推進のため、各大学等の特徴ある科目を集めたパンフを作成することにし、各大学に提供を依頼しているが、現在、放送大学から提供されているだけである。各機関の担当者によりしくお伝えいただきたい。
 - ③ 現在、eラーニング授業配信は山形大学のみであり、東北公益文科大学及び米沢女子短期大学にも配信の検討を依頼しているが、現在未回答ということであり、両大学にあっては担当者に確認していただきたい旨依頼があった。

以上